

私たちの身近な地域でも、**検出！**

PFAS汚染の現状を知ろう

発がん性など健康への影響が懸念される有機フッ素化合物「PFAS（ピーファス）」が全国の河川や地下水などから相次いで検出されています。PFASは人工的に作られた物質で、長く身近な製品にも使われてきました。自然環境では分解されにくく、人体に残留しやすいため、世界保健機関（WHO）の専門組織、国際がん研究機関（IARC）は、2023年、PFASの代表的な物質PFOA（ピーフォア）について「ヒトに対して発がん性がある」と発表しました。私たちの身近な河川や地下水、飲料水からも、PFASが検出され始めています。阪神間の水の調査にいち早く着手をされ、県内の現状を詳しくご存知の丸尾まき氏から、PFASとは何か？どう影響があるのか、などお聞きしましょう。

日時: 9月6日(土)

10:00~12:00



講師: 丸尾まき氏(兵庫県議会議員)

神戸市西区の明石川周辺、地下水など PFAS 汚染の調査活動や市民の血液検査を行い、いち早く国や自治体に PFAS 対策を提言している。

サステイナブルなひと、
生活クラブ

【場所】神戸市立中央区文化センター 1103・1104

【参加費】1人 200 円(中学生以上)

【募集人数】80 名(先着順)

【申込方法】QR コード、もしくはお電話。

※託児:1才以上・1人 200 円(組合員でエッコロたすけあい制度、加入者は無料)申し込み順。定員あり



【申込 QR コード】

【問合せ】Tel 078-904-3260

(生活クラブ生活協同組合都市生活 組織部/月~金 10時~17時)

